

第3章 業務・システムの最適化に関する事項

第1節 業務・システムの最適化計画の策定

「独立行政法人等の業務・システム最適化実現方策」（平成17年6月29日各府省情報化統括責任者（CIO）連絡会議決定）を踏まえ、対象となる業務・システムについて、平成19年3月に策定した「統計センターにおける業務・システムの見直し方針」に基づき、「業務・システム最適化計画」の策定に向けた作業を行った。

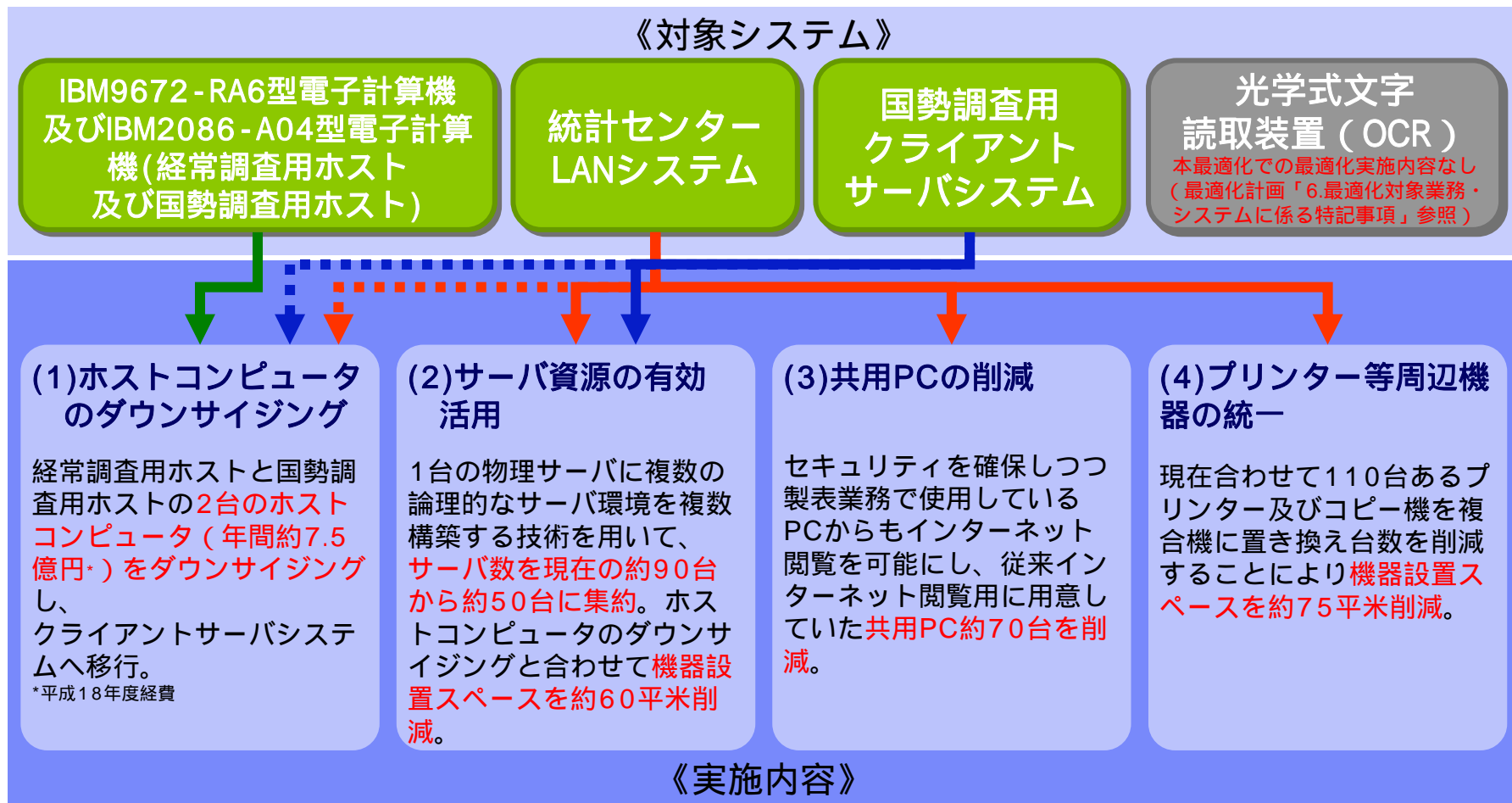
具体的には、「業務・システム最適化計画策定指針(ガイドライン）」（平成18年3月31日各府省情報化統括責任者（CIO）連絡会議決定）に準じ、支援業者の支援のもと、先進事例調査、将来体系の作成、効果算出等を行い、平成19年10月に「独立行政法人統計センターにおける業務・システム最適化計画」（以下「最適化計画」という。）を決定し、12月に、統計センターのホームページに掲載し公表した。平成20年3月には、最適化計画の実施に際しての具体的な方針について「実施計画書」を定め、今後は、これに基づき最適化計画で掲げる各施策の進捗管理、効果測定及び変更管理を行うこととした。

なお、最適化計画の対象システムに係る年間経費については、本取組を始めた平成18年度に比べて、最適化計画の最終年度である23年度に、約3億9000万円の削減が見込まれている。

統計センターにおける業務・システム最適化計画 概要

【参考1】

- 経常経費が一億円以上の以下のシステムについて、システムの構成面、技術面、運用面、調達手法面の各視点から ハードウェアのダウンサイジングによるコスト削減、ハードウェア資源の統合及び標準化による全体合理化とコスト削減を図る。



対象システムの年間経費	現行(平成18年度額)	約10.6億	年間約3.9億円(現行経費の35%相当)の経費削減
	将来(平成23年度試算値)	約6.7億	